



まちの話題

Focus in 南島原

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。



市内にある高校の魅力をお伝えします。



本校は、来年に創立20年を迎えます。そのプレイベントとして、南島原フェスを行いました。市内の美味しいものなどを生徒が販売しました。

わんこそめん大会や餅まき、鯛釣りなどでは親子連れで楽しむ姿が見られました。

11月5日(日)は、中学生を対象にした第2回オープンスクール・文化祭を実施します。プレゼント企画もありますのでぜひご参加ください。

いつまでもお元気で ～100歳おめでとうございます～



近藤 スエコさん(西有家町)
大正12年10月11日生まれ

「まちの話題」では、紙面の都合上、広報みなみしまばらに掲載できなかった話題や写真を南島原市ホームページの「まちの話題WEB版」に掲載しています。



12 市中総体駅伝競走大会を開催

市内各中学校代表者による駅伝大会が開催され、大きな声援の中、選手たちはそれぞれベストを尽くしてタスキを繋ぎました。

【結果】

- 男子の部
優勝…西有家中学校 準優勝…有家中学校
- 女子の部
優勝…深江中学校 準優勝…加津佐中学校

※上記2校は、11月9日(日)に開催される県大会に出場します。



左から関さん、松本市長、山田さん

13 招へい作家が制作作品を寄贈

全国公募によるアーティストを招き、制作活動やワークショップ、地域交流活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス事業(AIR事業)」において、約2カ月間の成果報告と制作作品の寄贈を行いました。

山田桃子さんは「シラキノや南島原の影響を受けて、これまでの画風とは全く異なる作品を制作できたことに自分でも驚いている。シラキノは若いアーティストにはすごく恵まれている環境だと思うので継続していただき、数年後また訪れて作品を制作したい」と話しました。



左から松本市長、小久保監督

9 プロ野球福岡ソフトバンクホークス ウエスタン・リーグ公式戦でPR

9月24日、市の協賛として抽選で選ばれた本市の子どもたちを招待し、選手との写真撮影やキャッチボール、選手と一緒に守備位置につくなど、観戦以外の貴重な体験を楽しみました。

松本市長から小久保監督に島原手延そうめんを贈呈し、小久保監督は「シーズンの残り試合数も少なくなっているが、島原手延そうめんを食べて、優勝できるように頑張りたい」と笑顔で話しました。

また、吉田賢吾選手によるそうめん流しや観光PRブース出展など、南島原の魅力をPRした1日となりました。



左から株式会社松尾青果 代表取締役、松本市長

11 株式会社松尾青果が「あずまや」を寄贈

株式会社松尾青果(南有馬町)が、来訪者の休憩所として利用するためのあずまやを寄贈されたことに対して、10月17日に感謝状を贈呈しました。

松尾代表取締役は「あずまやを建てた向小屋海岸は、ジオサイトで雲仙普賢岳、原城跡を一望できる観光スポットとして絶好の場所である。観光中にほっと一息できる場所として多くの人に利用していただきたい」と話しました。



8 噴火災害を語り継ぐメモリアルデー

9月15日、大野木場メモリアルデー2023が開催されました。5年生が「噴火災害の始まり、火砕流、土石流、復興に向けて」と題した学習発表会を行い、これからの将来へ噴火災害のことを引き継いでいくことの大切さを伝えました。

児童代表の池上くららさん、下田怜旺さん(6年生)は「これまで学んできた噴火災害を他の人にも話して忘れないようにしていきたい。いつもの日常が当たり前ではないことを改めて考え、大切に過ごしたい」と誓い、最後に全校児童で第2校歌の「生きていたんだね」を合唱しました。



10 第29回布津地区ファミリンピック

9月16日、布津中3年生がスタッフとして運営を行い、老人会などと協力して地域全体で青少年の健全育成に取り組むため、布津地区ファミリンピックを開催しました。

子ども会対抗ゲームや昔遊び、パトカーやはしご車体験など訪れた子どもたちは喜んで参加していました。

運営スタッフとして活躍した生徒は「楽しく参加していたイベントの準備がすごく大変だと感じた。しかし、来場者の笑顔を見ることができたので、やってよかった」と達成感いっぱい顔で話しました。

イベント まちの話題 市政通信 コラム インフォメーション 保健・子育て